



天文資料

2024年 12月号

令和6年度 第9号 (12月号)

令和6年11月25日

発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



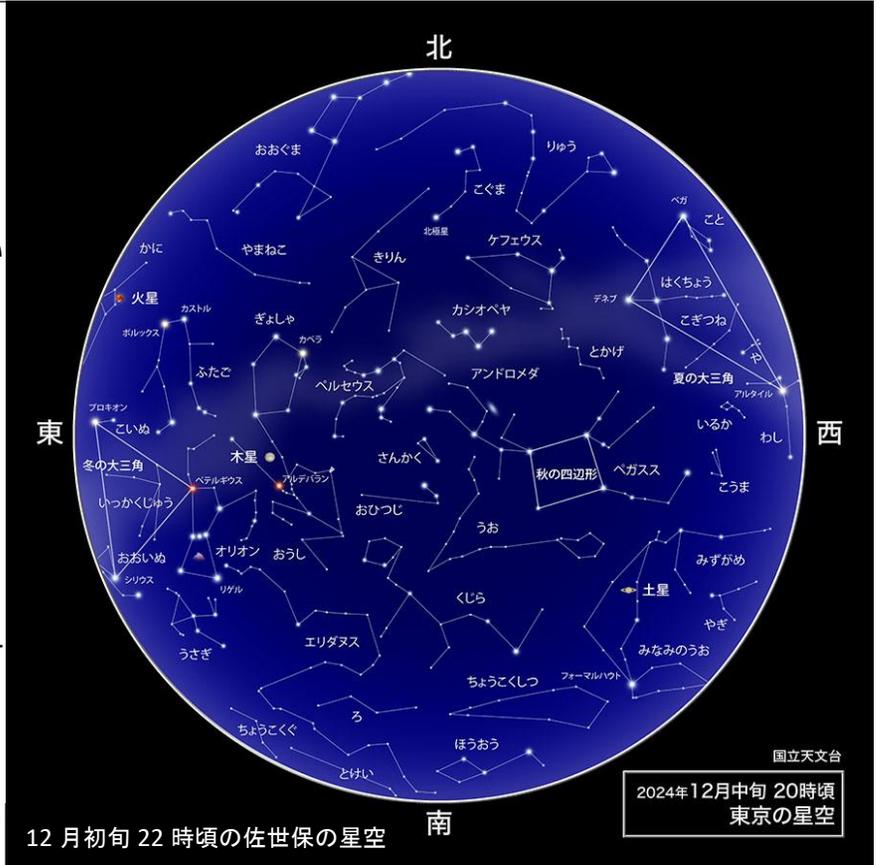
<冬の星空を楽しむ>

12月、日の入り後の南西の空には真っ先に宵の明星・金星が輝き始め、やがて土星や木星も見えてきます。夜が更けると、赤い輝きで目を引く火星も昇ってきます。

ふたご座流星群は14日が極大です。

(見頃は13日深夜から14日未明)

2024年12月は、8日の土星食と25日のスピカ食という、月が天体を隠す現象が続いて起こり、見どころに富んでいます。21日に冬至を迎え、夜の時間が長い季節でもあります。明るい星が多い冬の星空を楽しみましょう。



12月初旬 22 時頃の佐世保の星空

2024年12月中旬 20時頃 東京の星空



- 1日 新月
- 7日 大雪

(太陽黄経255度)

8日 土星食/木星が衝/火星が留/海王星が留

9日 上弦

14日 ふたご座流星群が極大(10時頃)、すばる食

- 15日 満月
- 16日 水星が留
- 21日 冬至(太陽黄経270度)
- 23日 下弦
- 25日 スピカ食
- 31日 新月

☆12月の天体観望会のお知らせ☆

★7日(土)18:00~(予約受付中)<土星・木星・秋と冬の星座>

★21日(土)18:00~(12/11(水)から受付開始)<土星・金星・木星・秋と冬の星座>

電話予約制(23-1517) 定員50名程度

※当日が雨天、曇天の場合はプラネタリウムで星座解説を行います。

※観覧料:小中学生150円、高校生以上320円